

湧水郷

平成28年度 嘉島西小便り
保護者・地域版 NO2
H28.6.28 文責 中野

大好きな学校をめざして 土曜授業

本年度から嘉島町の小中学校では、学期に1回土曜日に授業を行います。土曜授業の基本的な考え方は家庭・地域との連携による開かれた学校づくりを推進する観点、さらに通常の教科等の授業を行い、児童生徒一人ひとりの学力向上に努める観点です。

6月4日に第1回目を実施しました。芋苗植えを実施する予定でしたが、あいにくの雨で全学年での実施はできませんでした。

2学期は10月15日を予定していましたが、この週から運動会の練習も始まり、29日(土)が運動会になりますので、運動会を土曜授業にあてたいと考えています。

3学期は、2月4日(土)です。内容は通常の教科等の授業を考えています。(午前中の3時間授業です)学校週5日制により、子どもたちは土曜日にも習い事、家庭の行事等もあるかもしれませんが、ご理解頂きますようお願いいたします。



特別支援教育を学校の根幹として NO1 ～特別支援教育とは～

本年度は特別支援教育を学校目標の根幹の一つにしています。そこで、「特別支援教育」についてシリーズでお知らせしていきたいと思っております。

特別支援教育とは、教育上、特別支援を必要とする全ての子どもたちに(障害のある人ない人にかかわらず)一人一人の教育ニーズを把握し(子どもたちに何が必要なのかを探し)その子どもの持てる力を高め(子どもたちの得意を伸ばし)生活や学習上の困難を改善または克服するために(子どもの苦手を軽くするまたはなくすために)適切な指導及び必要な支援(分かりやすく「教え」、できるように「手助け」すること)を行うことです。本校では次のことに留意しながら子どもたちの教育活動を進めています。

- 子どもたちができるように手助けをしていく。
- 子どもたちに分かりやすく教える

○子どもたちの得意を伸ばす
ご家庭でもこの3つの視点で取り組んでいただけたらありがたいです。学校と家庭と一緒に子どもたちのよさをのばしていきましょう。そして、お子様のことで何か心配、子育ての悩みがありましたらどうぞ学校に相談ください。

また、この度の震災で専門のカウンセラーからのカウンセリングをご希望の方も担任か教頭までお申し出ください。

地域の皆様に支援いただいています。 ありがとうございます。

学校では子どもたちの「生きる力」をはぐくんでいます。多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中でよりはぐくまれるものであり、学校のみでできることはありません。加えて、近年の社会の変化に伴い、多様化・複雑化するニーズに学校の力だけで対応していくことは困難となっており、学校が地域社会においてその役割を果たしていくためには、地域の人々(保護者・地域住民等)の支援が必要となっています。現在も多くのところで、ご支援を頂いています。「朝からの交通指導」「ひだまりの会による読み聞かせ」「老人会の皆様による下校時の見守り」「フッ化物洗口のお手伝い」「増設棟のトイレの花生け」「クラブ活動でのお茶の指導」「学校園の耕耘機による耕し」等々です。本年度は努力目標として、地域の方々とのつながりを更に深めていきたいと考えています。その一つとして、地域の方々で学校に色々なことをご協力頂ける方々の情報を集め、嘉島西小人材バンクを作りたいと考えています。



「朝からの交通指導」「ひだまりの会による読み聞かせ」「老人会の皆様による下校時の見守り」「フッ化物洗口のお手伝い」「増設棟のトイレの花生け」「クラブ活動でのお茶の指導」「学校園の耕耘機による耕し」等々です。本年度は努力目標として、地域の方々とのつながりを更に深めていきたいと考えています。その一つとして、地域の方々で学校に色々なことをご協力頂ける方々の情報を集め、嘉島西小人材バンクを作りたいと考えています。

地域の方々とつながりを更に深めていきたいと考えています。その一つとして、地域の方々で学校に色々なことをご協力頂ける方々の情報を集め、嘉島西小人材バンクを作りたいと考えています。

地域のなかの学校としても学校の教育力向上ばかりでなく、地域ネットワークの形成といった形で、地域作りに貢献することもできればと思っています。

